

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和5(2023)年度)

法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室
-----------------	--------------	------------	--------------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の概要	<p>1 法人の事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放送法に基づく超短波放送事業 ・放送番組の制作及び販売 ・出版および録音事業 ・音盤の製作および販売 ・映画会、音楽会、講演会等の企画と実施 ・放送に関する人材の育成のための教育事業 ・防災関連用品の企画、販売 ・前記各号に関連附帯する事業 <p>2 法人の設立目的</p> <p>上記事業を行うことを目的とします。</p> <p>3 法人のミッション</p> <p>地域社会に密着した、市民が主人公のコミュニティFMとして、川崎市の豊かなまちづくり、市民生活の安心安全に貢献します。</p>														
本市施策における法人の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・市民生活に必要な地域の情報や市の魅力情報をタイムリーに提供します。 ・市民が発信する情報を通じ、地域のコミュニティづくりに貢献します。 ・災害時における緊急放送の担い手となります。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%; text-align: center;">政策</th> <th style="width: 35%; text-align: center;">施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">法人の取組と関連する市の計画</td> <td style="vertical-align: top;">市総合計画上関連する政策等</td> <td style="vertical-align: top;">政策5-1 参加と協働により市民自治を推進する</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">関連する市の分野別計画</td> <td colspan="2" style="vertical-align: top;">川崎市地域防災計画</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="vertical-align: top;">施策5-1-2 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進</td> </tr> </tbody> </table>				政策	施策	法人の取組と関連する市の計画	市総合計画上関連する政策等	政策5-1 参加と協働により市民自治を推進する	関連する市の分野別計画	川崎市地域防災計画				施策5-1-2 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進
	政策	施策													
法人の取組と関連する市の計画	市総合計画上関連する政策等	政策5-1 参加と協働により市民自治を推進する													
関連する市の分野別計画	川崎市地域防災計画														
		施策5-1-2 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進													
現状と課題	<p>1 現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内唯一のコミュニティFM局として、市政情報や安全・防災等の生活に役立つ情報から、音楽・芸術・スポーツ等の文化的な情報まで、地域密着の放送を継続しています。 ・コロナ禍のなか、スタジオ出演の人数制限を実施する一方で、電話出演を積極的に取り入れ、継続して地域のコミュニティづくりに貢献しています。 ・令和元年台風19号の際の特別放送の実施やコロナ関連情報の随時発信など、災害時には市民が必要とする地域のきめ細かい情報を迅速かつ的確に放送できるよう備えています。 ・平成29年度以降、継続して営業利益を確保しています。 ・AIアナウンサーを導入し、天気予報等の情報を発信しており、災害時には、長時間の放送にも備えることができます。 <p>2 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高単価で販売可能な生放送枠はほぼ完売しており、放送収入を増収するには実勢価格の値上げが必要になりますが、メディアの多様化によりラジオへの広告出稿は減少をしている中での値上げは厳しい状況です。また、今後も放送外収入の拡大にも取り組むなど、安定経営を継続していくことが求められています。 ・災害時における緊急放送の担い手として期待される役割は、近年の異常気象や新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、一層重要になってきており、少人数で24時間365日災害時に備える体制の構築が急務であるといえます。 ・近年、放送局がある中原区を中心に川崎市では若い世代の転入者が多くなっていますが、そういった新しい市民に対する認知度向上が課題となっています。 														
取組の方向性	<p>1 経営改善項目</p> <p>市内に特化した地域情報、災害情報などの提供というコミュニティFMとしての役割を一層発揮していくとともに、引き続き、適正なコスト管理やスポンサー獲得に向けた積極的な営業活動を行い、本市に依存しない財務体質の確立を図ります。また、市民と地域をつなぎ、街が盛り上がる番組制作やSNSと連動した情報発信などを行い、認知度の向上を図ります。</p> <p>2 連携・活用項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内唯一のコミュニティFMとして、広域ラジオやテレビなどのメディアではカバーしきれない市民向けのきめ細やかな情報を発信できることから、市政情報や地域安全・防災等の生活に役立つ情報、音楽・芸術・スポーツ・イベントなどの市の魅力情報の発信を行います。 ・リモート出演等、新しい生活様式に合わせ、引き続き市民が出演し情報発信ができる環境を作ります。 ・災害時においては、川崎市地域防災計画に規定されている重要な情報媒体として、総務企画局危機管理室(現:危機管理本部)と連携を図りながら、災害応急・復旧時に市民に不可欠な情報を的確かつタイムリーに放送します。 														

本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

4力年計画の目標

身近で役立つ魅力的な番組や地域安全・防災情報を提供するとともに、放送事業を中核とした収益の確保を図り、市に依存しない経営を目指します。

- 市内唯一のコミュニティFMとして、地域の話題や、行政・イベント・交通等の地域に密着したきめ細かな情報を提供し、自社ワイド番組での情報発信を強化します。
- 音楽・スポーツ等、魅力ある番組制作を行うとともに、市民の放送参加や番組出演についても積極的に推進します。
- 災害時における緊急放送の担い手としての役割を果たすため、定期的に緊急割込放送の訓練を実施するとともに、防災意識の啓発に向けた番組の放送を一層強化します。
- 新規番組等の獲得に合わせて、放送料金の実勢価格の値上げ及び放送外事業の開拓拡大に取り組み、継続的な収益確保に努めます。
- 新たに転入してきた市民(特に若い世代)に対する認知度を向上させるため、SNS等を活用した情報発信を積極的に行います。

1. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	現状値 (令和3 2021年度)	目標値 (令和5 2023年度)	実績値 (令和5 2023年度)	単位	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	放送事業	地域情報の発信件数	3,365	3,220	4,446	件	a	A	I
		市民の放送参加人数	906	1,400	1,481	人	a		
		防災啓発番組の放送回数	212	170	227	回	a		
		事業別の行政サービスコスト	36,717 (41,187)	33,802 (43,600)	34,243 (46,789)	千円	2)	(2)	

2. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 2021年度)	目標値 (令和5 2023年度)	実績値 (令和5 2023年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	市に依存しない経営体制の確立	営業費用のうち市財政支出額の占める割合(市財政支出額/営業費用)	53.2	44.4	42.5	%	a	A	I
		営業収益(市財政支出額を除く。)の推移	40,501	47,000	55,532	千円	a		

3. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 2021年度)	目標値 (令和5 2023年度)	実績値 (令和5 2023年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	認知度の向上	認知度向上のための情報発信件数	651	3,600	3,994	件	a	A	I

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

法人及び本市による総括

【令和4(2022)年度取組評価における本市の総括コメントに対する法人の受止めと対応】

令和4年度の市の総括を踏まえ、令和5年度も市に依存しない経営を目指し、市民参加型の特別番組や出張公開生放送・公開収録などを実施したほか、放送外収入にも力を入れ、主催イベントや地域企業との共催イベントを開催し、売上向上につなげました。また、取材先でも市民に積極的にインタビューし放送するなど、地域情報の発信件数や市民の放送参加人数の増に積極的に取り組みました。災害時における緊急放送の担い手としても、Lアラートを活用した災害情報自動読み上げシステム「ラジアラート」を運用し、災害時に緊急災害情報の割込み放送を自動的にできる体制を整え、多言語割込み放送訓練も実施しました。認知度向上については、最重要課題の一つと捉え、SNS広報チーム(4名)により、質の向上を図りながら効果的な情報発信に努めました。

【令和5(2023)年度取組評価の結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など】

全般にわたり着実に目標を達成し、市民生活に必要な地域の情報や市の魅力情報の発信、地域のコミュニティづくりに貢献しており、災害時における緊急放送の担い手としても、平時から防災情報等の提供を実施していました。

当該法人については、放送事業では、市民、企業や団体などを巻き込んだ新しい企画を次々と実施するなど積極的に取り組んだ結果、各取組の指標で掲げた目標を達成し、営業収益も目標値を上回る実績を達成しました。また、認知度の向上についても、限られた人員の中、質の向上を図りながら、目標を達成したことは評価できます。

令和6年度以降も、放送事業を中核とした収益の向上に努めつつ、市内唯一のコミュニティ放送局として、地域に密着したきめ細かな情報の発信や防災意識の啓発を通じて、市民に開かれた情報共有の推進に貢献していくことを期待します。

1. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和5(2023)年度)

事業名	放送事業
計画 (Plan)	
現状	市民の身近な放送局として、市提供番組枠外においても市民に役立つ情報の提供や市民の番組出演を積極的に実施しています。防災関連放送については、コミュニティFMの最大のミッションとして取り組んでいます。市委託料の逡減に対し、市委託料以外の民間等の売上増により事業収益の確保に努めています。
行動計画	ワイド番組(自社放送枠)内で、地域密着情報の発信、ニーズの高い市政情報の発信や市民の放送参加を可能な限り拡大します。また、防災関連については市と連携した訓練や防災啓発番組等の強化を推進します。
具体的な取組内容	自社ワイド番組内で、地域密着情報や市政情報を積極的に提供します。また、多くの市民が番組出演できる企画の立案等を行います。防災関連については、緊急割込み放送の実施に加え、行政の防災訓練を取材し、災害時放送の周知を図るとともに、防災啓発番組に取り組み、市民の防災意識の向上に貢献します。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海道川崎宿起立400年や市制100周年に向けたイベント情報、川崎にゆかりのあるスポーツ選手や関係者の出演によるスポーツ観戦情報など、様々な地域情報を積極的に発信しました。 ・巡回市民オンズマン、違法薬物乱用防止、神奈川県最低賃金改正、新型コロナウイルス感染症5類移行など様々な市政情報を随時発信しました。 <p>【指標2関連】</p> <p>下記企画を通じて、多くの市民が番組出演しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■令和4年度から継続 <ul style="list-style-type: none"> ・若者応援企画(子どものラジオ番組職業体験や時報CMナレーション体験、高校生バンド王など) ・中高生の職業体験、大学生インターンシップを通して、ラジオ制作及び出演 ■令和5年度新企画 <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学生と市長の座談会 ・その他市民巻き込み企画(「CMソングオーディション」、「大人のバンド祭」) ■その他の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ブッキング担当チーム(専任)が市民、団体や企業に積極的にアプローチし、自社ワイド番組内で、地域のイベント告知や募集案内などについてスタジオ生出演や電話出演していただいたほか、地域の防災訓練に参加した市民にインタビュー出演していただきました。 <p>【指標3関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■わが家の危機管理/計103回 ■かわさきぼうさいひろば・割込放送/計12回 ■防災一口メモ/計15回 ・AIアナウンサーによる多言語防災啓発番組を割込放送システムを利用して放送 ■川崎市防災訓練 素材出し/計5回(総合防災訓練、区防災訓練、地区防災訓練) <ul style="list-style-type: none"> ・各地域で行われる防災訓練の取材やリポートを番組内で放送 ■防災番組、ゲスト出演 計92回 <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型の防災啓発番組を制作(減災ガールズ、井田共友会など自主防災組織が出演) <p>【その他(指標3関連)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務省と神奈川エフエムネットワーク所属のコミュニティFM各局と協力して臨時災害放送局の設置・放送訓練を実施 ・令和4年度に導入した災害時自動割込みシステム「ラジアラート」を活用する訓練実施
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	地域情報の発信件数	目標値	3,365	3,000	3,220	3,430	3,640	件
	説明 自社ワイド番組での地域情報発信件数	実績値		3,310	4,446			
2	市民の放送参加人数	目標値	906	802	1,400	1,450	1,500	人
	説明 自社ワイド番組出演の市民の人数	実績値		1,294	1,481			
3	防災啓発番組の放送回数	目標値	212	165	170	175	185	回
	説明 防災訓練放送及び防災啓発番組等の回数	実績値		214	227			

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	
指標3 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

地域情報の発信については、更なる強化を自社の使命として、自社ワイド番組内でイベント情報や市政情報を発信したほか、川崎にゆかりのあるスポーツ選手や関係者が出演し、地域情報を発信してもらいました。
また、市民の放送参加については、新企画の実施などで市民参加の機会を増やしたほか、取材先で市民にインタビューするなど、市民の放送参加の機会を増やすことができました。
防災訓練放送及び防災啓発番組については、コミュニティ放送局として、引き続き、最重要のテーマとして取り組み、総合防災訓練や区、地域の防災訓練のほか、市民参加型の防災啓発番組の制作及び放送を実施し、防災の大切さを伝えることができました。これらの取組により、各指標で目標値を上回ることができました。



区分	区分選択の理由
A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

行政サービスコスト	目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1 事業別の行政サービスコスト	目標値	/	35,181 (40,993)	33,802 (43,600)	32,478 (47,100)	31,208 (45,900)	千円
説明 本市財政支出(直接事業費)	実績値		36,717 (41,187)	35,201 (41,637)	34,243 (46,789)		

行政サービスコストに対する達成度	2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

川崎市の財政支出は、令和4年度と比較し958千円減少しましたが、自己収入増のため特別番組実施や主催または共催のイベントを企画・実施しました。営業収益増に伴う売上原価(制作費など)や、準社員1名増員及び待遇改善による人件費、Lアラートを活用した災害情報自動読み上げシステム「ラジアラート」導入に伴うランニングコストの増加、PC購入や機材備品の更新したため直接事業費も増加となりましたが、自己収入増加の営業努力により目標値を超える実績となりました。本市財政支出(委託料)については令和4年度に引き続き削減しながらも、市民生活に必要な地域情報の発信等を着実に進めました。



区分	区分選択の理由
(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2)

改善(Action)

方向性区分	方向性の具体的内容
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	引き続き、自社ワイド番組(1日約7時間の放送時間)の中で、市政情報や地域情報等の提供並びに市民の番組出演を拡大できるよう取り組みます。令和6年度は、市制100周年記念事業と連携した地域貢献活動の一環として、100周年記念番組「かわさき100ラジ」を新規に立ち上げ、100周年記念事業の参画団体にラジオ番組出演の機会を提供します。 防災に関しては、災害時における緊急情報の担い手として、改めて地域防災の広報や災害時放送の周知や防災啓発放送に取り組み、更なる市民の防災意識の向上に貢献します。 行政サービスコストについては、積極的に営業活動を行い、特に特別番組の放送収入や放送外収入を増加し、市に依存しない経営を目指します。

法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティブロモーション推進室
----------	--------------	-----	--------------------

2. 経営健全化に向けた取組①(令和5(2023)年度)

項目名	市に依存しない経営体制の確立
計画 (Plan)	
現状	令和2年度決算における営業費用のうち市財政支出額の占める割合は52.9%と前年度比で減少し、市財政支出額を除く営業収益の額は37,668千円と前年度比で増加しています。
行動計画	引き続き、スポンサー獲得に向けた積極的な営業活動により、放送枠・スポットCM等の販売を強化するだけでなく、朗読セミナーなど、放送外の収益も確保するとともに、適正なコスト管理により、費用を縮減します。
具体的な取組内容	引き続き、取材先や地域活動の参加を通じて面識を持った企業・団体への営業活動などを行い、番組や特別番組の獲得に取り組むとともに、朗読セミナーの開催やイベント司会の派遣、新規イベントの実施などの放送外収入にも取り組みます。また、更なる業務効率化を図り、社員・準社員の工数削減にも取り組みます。

実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1及び指標2関連】</p> <p>令和5年度 営業収益(市財政支出額を除く): 55,532千円(前年度比 121%) 市財政支出額: 34,243千円(前年度比 97%) 営業費用: 80,548千円(前年度比 107%)</p> <p>■放送収入</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に続き、包括連携協定を締結した金融機関による地域活性化へ向けた取組を紹介する番組や、かわさきスポーツパートナーであるスポーツチームの実況中継を実施しました。 川崎を舞台にしたTVアニメに登場するバンドが出演する特番及びレギュラー番組や、川崎地元企業のスポンサーを新規で19件、獲得しました。 また、市内小学生と市長の対談形式番組(「市長と話そう麻生区SDGs推進隊」、大学生によるイベント中継番組(フロンタウン生田公開生放送・備えるフェスタ公開収録)のほか、市制100周年記念事業の一環として、川崎市在住・在校の高校生を対象に開催した「高校生バンド王vol.4 in かわさき」の生中継など、企業や団体と協働して番組の企画、制作、放送を行いました。 <p>■放送外収入</p> <ul style="list-style-type: none"> 朗読セミナーのクラスを増設(4クラス→6クラス)、受講料増額(28,000円→33,000円)して2回開催しました。 イベント司会の派遣(スポーツチームの祝勝会、中原区民祭、多摩川マラソンなど)をしました。 新規イベント(アクサ生命と共催したマネーセミナー、川崎フロンターレトークショー)を実施しました。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> スタジオ出演予約システム、Googleカレンダーによる社員スケジュール管理システムや、ビジネス用メッセージアプリ slackの導入、朗読セミナー申し込みの運用見直しなど、業務効率化を図り、社員・準社員の工数削減に努めました。
---------------	--

評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	営業費用のうち市財政支出額の占める割合(市財政支出額/営業費用)	目標値	/	50.3	44.4	40.8	39.8	%
	説明 営業費用(売上原価、販売費及び一般管理費)に占める市財政支出額の比率	実績値		53.2	47.2	42.5		
2	営業収益(市財政支出額を除く。)の推移	目標値	/	36,883	47,000	48,500	50,000	千円
	説明 営業収益から市財政支出額を除いた額	実績値		40,501	45,893	55,532		

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

積極的な営業活動や取組により、レギュラー番組や特別番組の新規番組スポンサーの獲得、司会派遣の受注、朗読セミナーの定員及びクラス増、イベントの主催や共催など、放送収入及び放送外収入とも令和4年度から向上(新規スポンサー19件5,500千円増、放送外収益は令和4年度比2,600千円増)し、売上全体としても令和4年度を上回る実績をあげることができました。これらにより、各指標で目標値を達成することができました。

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分		方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I	引き続き、営業収益の向上に向け、積極的な営業活動や取組により、新規スポンサーの獲得などの販売強化に取り組むとともに、市民参加の新規セミナーなど放送外収入の確保に積極的に取り組みます。特に令和6年度の市制100周年に向けて、新たな番組の制作を実施し、営業収益につなげるよう取り組みます。

法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室
----------	--------------	-----	--------------------

3. 業務・組織に関する取組①(令和5(2023)年度)

項目名	認知度の向上
計画 (Plan)	
現状	市内の認知度は必ずしも高いとは言えず、放送サービスを安定的に提供するための収益確保に向けて、認知度向上への取組の推進が求められています。
行動計画	ホームページやSNS等を活用し、認知度向上に資する情報発信の強化を推進します。 その取組の中で、アウトカム指標(アクセス数、SNSフォロワー数等)を参考にしながら発信する情報内容の改善等を図ります。
具体的な取組内容	ホームページや公式X(旧Twitter)などにより番組情報や出演者情報などを積極的に発信し、X(旧Twitter)上の返信内容を放送で取り上げるなど番組と連携強化するなどして、認知度の向上を図るとともに、発信した情報の反応を確認しながら効果的な情報発信に努めます。

実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや公式X(旧Twitter)などにより番組情報の詳細や写真付きで出演者情報などを積極的に発信しました。 ・X(旧Twitter)上の返信内容を放送で取り上げ、リスナー参加型番組としてSNS連携をしました。 ・Post(旧ツイート)で高いインプレッション(投稿が表示された回数)やエンゲージメント(反響数いいねの数、リツイートの数)があったスポーツ関連情報については、より重点的かつ効果的なSNSによる情報発信をしました。 <p>【その他(SNS以外の認知度向上)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者応援企画(子どものラジオ番組職業体験や時報CMナレーション体験、市内小学生と市長の座談会、高校生バンド王など)や、市民巻き込み企画(「CMソングオーディション」、「大人のバンド祭」など)のチラシを配布してPRを実施しました。 ・かわさきスポーツパートナーのトークショー企画や、イベントなどとコラボした公開収録(フロンタウン生田健康長寿フェスタ、よい仕事おこしフェア)などを実施し、来場者にインタビューや出演してもらうことで、認知度の向上を図りました。 ・地域自主防災組織の出演をきっかけに、防災倉庫にポスターやチラシを貼り出してもらいました。
---------------	---

評価 (Check)

業務・組織に関する指標	目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1 認知度向上のための情報発信件数	目標値	651	300	3,600	3,700	3,800	件
説明 HPやSNS等を活用した情報発信件数	実績値		3,587	3,994			
指標1に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)							
認知度向上については、引き続き最重要課題の一つと捉え、SNS広報チーム(4名)が毎月の目標を定めてSNSによる情報発信を強化した結果、令和5年度の目標値を上回ることができました。また、注目を浴びている記事や投稿を確認し、拡散されるような内容を投稿するなど効果的な発信に取り組んだほか、ホームページやSNSに寄せられたメッセージも随時、番組内で取り上げ、番組連携を図る取組も実施しました。							

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 認知度向上を最重要課題の一つと捉え、限られた人員の中で、質の向上に努めながら、発信件数の徹底した目標管理を実施した結果、目標値を上回ることができたため。また、SNS以外でも認知度向上に向けた多岐にわたる取組を精力的に行っているため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
損益計算書	営業収益	77,219	81,095	89,775		
	営業費用(売上原価)	39,782	41,637	46,789		
	営業費用(販売費及び一般管理費)	29,193	32,977	33,760		
	うち減価償却費	4,521	3,724	5,166		
	営業損益	8,243	6,481	9,227		
	営業外収益	66	14	53		
	営業外費用					
	経常損益	8,309	6,495	9,280		
	税引前当期純利益	8,309	6,495	9,280		
税引後当期純利益	6,346	5,223	7,245			
貸借対照表	総資産	185,520	194,589	204,682		
	流動資産	111,955	131,244	132,212		
	固定資産	73,564	63,345	72,470		
	総負債	14,189	18,036	20,883		
	流動負債	7,913	10,291	12,500		
	固定負債	6,276	7,745	8,384		
	純資産	171,330	176,553	183,799		
資本金	100,000	100,000	100,000			
剰余金等	71,330	76,553	83,799			

主たる勘定科目の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
営業収益	放送収入	73,215	75,965	79,247		
営業費用	経常費用(売上原価+販管費+営業外費用)	68,975	74,614	80,548		
総資産	現金・預金	102,818	121,647	122,087		
総負債	有利子負債(借入金+社債等)					

本市の財政支出等(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
補助金						
負担金						
委託料		36,717	35,201	34,243		
指定管理料						
貸付金(年度末残高)						
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)						
出捐金(年度末状況)		77,000	77,000	77,000		
(市出捐率)		55.0%	55.0%	55.0%		

財務に関する指標		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		1414.8%	1275.3%	1057.7%		
有利子負債比率(有利子負債/純資産)						
経常収支比率(経常収益/経常費用)		112.0%	108.7%	111.5%		
純資産比率(純資産/総資産)		92.4%	90.7%	89.8%		
経常費用に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常費用)		53.2%	47.2%	42.5%		
経常収益に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常収益)		47.5%	43.4%	38.1%		

法人コメント		本市コメント	
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど	
<p>営業収益については、前年度から約868万円増やすことができました。その要因は、積極的な営業活動により、新規レギュラー番組獲得、公開出張生放送や公開出張収録、主催共催イベントなどの特別番組の獲得に加え、通期でクラス数と受講料を増額した上で朗読セミナーが開催できたことによるものです。</p> <p>営業費用については、前年度から約500万円増えました。その要因は、スポーツ中継制作の外部委託費や、災害時の放送強化を目的としたアラート活用の災害情報自動読み上げシステム「ラジアラート」導入に伴うランニングコストのほか、放送設備のメンテナンス費、放送や広報チーム強化のために採用した準社員(非常勤)1名の給与や、職員の成長を促し意欲向上などを目的とした評価制度導入(目標達成度合いに基づく賞与などの支給)に伴う人件費増によるものです。</p> <p>その結果、令和5年度の営業損益については、前年度から増加しました。</p>	<p>引き続き、放送サービスを安定的に提供するため、川崎市の充実したスポーツコンテンツを生かした市民参加型の魅力ある番組を企画するなど認知度向上を図りながら、新規獲得スポンサーを中心とした放送料金の実勢価格の改善など放送事業の収入向上のほか、朗読セミナーと同じような市民参加型セミナーの企画、他企業と共催するイベント実施など放送外事業の開拓拡大など、営業収益の向上に取り組めます。また、引き続き、業務の合理化や職員の賃金引上げ、組織体制の強化にも取り組みます。</p> <p>これらの取組を推進し、令和6年度以降の市財政支出額を除く営業収益については、5,510万円以上を目標に尽力します。</p>	<p>令和5年度も、必要な経費を支出しながら、新規のレギュラー番組や特別番組の獲得、通期でクラス数を増やしての朗読セミナーの開催など、収益確保に向けた様々な取組を実施し、営業損益については、前年度を上回る利益を達成したことは評価できます。</p> <p>今後も放送サービスを安定的に提供するため、設備投資など必要な経費を支出しながら、営業収益の向上に向けた取組を一層進めることを期待します。</p>	

(2)役員・職員の状況(令和6年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	1	0	0	10	1	0
職員	4	0	0	8	0	0

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解

・理由

・今後の方向性